ほうでえ～　ありゃ～のう

周防大島 町の話題

周防大島文化交流センター新愛称は「宮本常一記念館」

広く募集していた周防大島文化交流センターの愛称について、8月3日、愛称選定委員会の新山玄雄委員長から椎木町長に選考結果の報告が行われました。

愛称は、町内外から応募のあった108点の作品から選考され、この中で「宮本常一」を冠するものが15作品と多く、また、同氏の関係資料を網羅的に収蔵している施設は全国的にも類がないことを受け、最終的には、今後もその事績を通して幅広い活動を展開していくとの思いが込められた「宮本常一記念館」に決定しました。

この愛称に応募されたのは、福田忠邦さん（油宇）と光田伸幸さん（西安下庄）で、お二人には記念品が贈られます。

今後も、より一層皆さんに親しまれる施設となるよう運営して参ります。

▶新山委員長（写真左）の報告を受ける椎木町長

▲宮本常一記念館の愛称で今後も親しまれる施設に

英語だけで過ごす２日間

今回で19回目となるイングリッシュキャンプが、8月17日・18日の2日間、橘ウインドパークで行われました。

参加したのは町内の中学生14名と周防大島高校の4名で、県内東部に所属するALT（外国語指導助手）10名と一緒に日常生活の英語にチャレンジしました。

英語だけの生活は日頃はなかなか体験出来ないこともあり、生徒たちは有意義な2日間を過ごしました。

▶グループ別にいろいろな問題も解いていきました

児童クラブでイングリッシュ

夏休み期間中の町内の児童クラブで英語教室が開かれました。

これは、町が英語教育の一環で取り組んでいるもので、授業に取り入れられている小学校高学年の前の段階でも英語に親しんでもらおうと、今回初めて実施されました。

教室ではゲームや体操なども取り入れて、楽しく英語を学びました。

▶元気よく発音しました（写真は久賀児童館）